

小金井市児童発達支援センター運営協議会 次第

日時：平成26年11月18日（火）

午前10時から

場所：前原暫定集会施設 A会議室

1 開 会

2 小金井市児童発達支援センター「きらり」 10月末までの実績報告

3 第2回の引き継ぎ案件

- ・巡回相談事業の検討状況
- ・一時預かり事業の検討状況
- ・その他事業の検討状況

4 アンケート

- ・利用者向けアンケート
- ・関係機関アンケート結果報告

5 事務局からの提案

- ・委託形態の変更
- ・業務評価
- ・入園条件

6 委員発議の討論テーマ

7 次回の開催日及び内容について

8 閉 会

■配布資料

- 資料1 小金井市児童発達支援センター「きらり」実績報告
- 資料2 巡回相談事業の検討状況
- 資料3 一時預かり事業の検討状況
- 資料4 その他の検討状況
- 資料5 関係機関職員向けアンケート結果
- 資料6 利用者向けアンケート（案）
- 資料7 指定管理者資料
- 資料8 「小金井市児童発達支援センター きらり」業務委託評価報告書
- 資料9 入園条件
- 資料10 委員提案意見一覧
- 資料11 小金井市児童発達支援センター運営協議会スケジュール

児童発達支援センター運営協議会への実績報告

平成26年10月31日現在

	平成26年										平成27年			合計
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月		
①相談支援事業（一般）	13件	12件	14件	18件	11件	15件	14件						97件	
②相談支援事業（専門）	37件	53件	45件	42件	32件	28件	45件						282件	
③相談支援事業（☎）	14件	18件	26件	17件	9件	13件	34件						131件	

	平成26年										平成27年			合計
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月		
④児童発達支援事業	20人	20人	20人	20人	20人	20人	20人						-	
⑤放課後等デイサービス	48人	48人	49人	50人	50人	50人	49人						-	
⑥保育所等訪問支援事業	0人	0人	1人	1人	1人	1人	1人						-	
回数	0回	0回	1回	1回	0回	1回	0回						3回	
⑦親子通園事業	6人	6人	11人	11人	21人	15人	17人						-	
⑧外来訓練事業	39人	41人	46人	51人	54人	56人	56人						-	
回数	94回	90回	110回	117回	115回	138回	123回						787回	

各事業の報告内容について

①相談支援事業（一般）	新規の相談の方が対象
②相談支援事業（専門）	継続相談の方が対象。計画相談等も含まれる。
③相談支援事業（☎）	相談者、関係機関等との電話での相談。予約受付は数に含まない。
④児童発達支援事業	登録者数
⑤放課後等デイサービス	登録者数
⑥保育所等訪問支援事業	登録者数及び実施回数
⑦親子通園事業	登録者数
⑧外来訓練事業	登録者数及び実施回数

巡回相談事業の検討状況について

1 目的

「小金井市の発達支援事業に係る基本理念」に基づき、ライフステージに応じた発達支援事業とするため、事業の統合を図り、児童への継続的、専門的な支援を行うために、各施設の状況の理解、連携の促進、統合に向けた準備等を目的とする。

2 実施予定時期

平成 27 年 4 月（予定）

3 対象施設

- (1) 公立保育園（5 園）
- (2) 小学校（9 校）
- (3) 中学校（4 校）
- (4) 学童保育所（9 館）

※平成 27 年度から学童保育所のみを対象とし、その後調整がつき次第、対象施設を増やしていく。

4 対象者

対象施設に在籍する児童

5 滞在時間

4 時間程度

6 訪問人数

「きらり」からの訪問者は原則 1 名

※対象施設の状況に応じて、「きらり」以外の人員が同行する。

「きらり」の職員は、対象施設に応じて変化することがある。

7 その他

(1) 保護者への対応

巡回相談事業は、支援の必要な児童の通う施設での集団生活における環境調整及び児童への対応方法の改善を図ることを目的としているため、保護者への対応はしない。そのため、巡回相談を行っている職員が保護者へ説明することはできない。また、個別に保護者から相談を受けることもできない。

(2) 保護者への説明

保護者へ説明については、「巡回相談を行った結果、〇〇したほうが良いと言われています。」という説明はしない。そのため、保護者への説明の仕方等についてわからなければ、巡回相談の際に担当者へ相談してもらう。

一時預かり事業の検討状況について

1 事業概要（定員：検討中）

保護者の傷病、災害、事故、出産、介護、葬祭等社会的にやむを得ない理由により、緊急かつ一時的に家庭における育児が困難となった場合に、特別な配慮が必要な乳児・幼児を一時的に預かり、保護者の負担の軽減を図る。

2 実施予定時期

平成28年4月（予定）

3 事業の流れ

児童一時預かり事業では、乳児・幼児の名前、支援シート（ファイル）の有無の確認、希望される日時の確認等を行い、調整した日程の終了時刻まで預かる。この際、乳児・幼児が飲む飲料水、昼食を必要とする場合には昼食、着替え、おむつ等の生活上必要なものは、全て保護者の負担とする。

4 実施時間

午後2時から午後5時まで

5 対象者

「きらり」を利用されている方

その他の検討状況について

□ 保護者から要望されている事業

・土曜日の外来訓練事業

→職員配置ができれば対応できると考えるが、まずは週 1 回程度で検討している。

・外来訓練事業、放課後等デイサービス事業の送迎

→放課後は検討を進めているが、外来は多くの利用者があり、定期的に決まった場所でないため、訓練に遅れる可能性も高く実施はできない。

・外来訓練事業での摂食指導

→個別訓練の中で対応はしているが、それ以外にも実施を希望されているのであれば、研修会として対応を考えていきたい。

・中高生への対応

→当初より検討を進めてきているが、トイレが少ない、または個室が無い、部屋が狭いなどの施設の問題から実施は難しい状況にある。

・通園から他の保育園等へのルート

→保育園や幼稚園の情報は持っているので、紹介はできるようになっている。ただし、最後は保護者の判断であるため、「きらり」言ったからそこにするのはなく、保護者に現場を見て判断してほしいと考えている。

児童発達支援センターに係わるアンケートについて（全体）

1 回答数

配布	176枚
回収	132枚
回収率	75%

2 アンケート結果

Q1:あなたが所属する機関はどちらですか？

	回答数	配布数	回収率
1 公立保育園	19枚	25枚	76.0%
2 民間保育園	31枚	40枚	77.5%
3 民間幼稚園	6枚	12枚	50.0%
4 学童保育所	14枚	18枚	77.8%
5 小学校	38枚	45枚	84.4%
6 中学校	15枚	25枚	60.0%
7 相談機関	4枚	6枚	66.7%
8 特別支援学校	5枚	5枚	100.0%
合計	132枚	176枚	75.0%

Q2:あなたの勤続年数は？(今の仕事について何年目ですか)

	回答数
1年未満	6人
1年以上3年未満	24人
3年以上5年未満	15人
5年以上10年未満	35人
10年以上	52人
合計	132人

Q3:「きらり」を知っていますか？

	回答数	割合
実施事業も含めて知っている	92人	70.2%
施設があることは知っている	27人	20.6%
名前を聞いたことがある	3人	2.3%
知らない	9人	6.9%
合計	131人	100.0%

※ 1人未回答

Q4:知っている方にお聞きします。「きらり」を何で知りましたか？

	回答数	割合
市報	18人	12.4%
HP	4人	2.8%
講演会・研修会	40人	27.6%
友人・知人	11人	7.6%
保護者	8人	5.5%
その他	64人	44.1%
合計	145人	100.0%

※複数回答あり

Q5:「きらり」では、専門的な療育として言語訓練や作業療法等を行っていますが、その他に「きらり」に期待していることはありますか？

	回答数	割合
ある	57人	43.5%
ない	59人	45.0%
未回答	15人	11.5%
合計	131人	100.0%

※要望事項は別紙にまとめる

Q6:「きらり」では、関係機関の皆様と連携して、お子さまの成長を見守っていきたいと考えていますが、連携をするために必要なことは何ですか？(複数選択可)

	回答数	割合
連携先の方針を知る	65人	22.4%
連携先の予算を知る	5人	1.7%
連携先に定期的に顔を出す	71人	24.5%
個人情報の交換ができるように整理する	76人	26.2%
「きらり」をもっと周知する	59人	20.3%
その他	14人	4.8%
合計	290人	100.0%

※その他は別紙にまとめる

Q7:さくらシートをご存知ですか？

	回答数	割合
知っている	60人	45.8%
知らない	72人	55.0%
未回答	0人	0.0%
合計	132人	100.8%

Q8:さくらシートを知っている方にお聞きします。さくらシートを何で知りましたか？

	回答数	割合
市報	2人	3.3%
HP	1人	1.7%
講演会・研修会	32人	53.3%
友人・知人	0人	0.0%
保護者	1人	1.7%
その他	24人	40.0%
合計	60人	100.0%

Q9:さくらシートは、保護者がお子さまの状況を記載し、関係機関で同じ説明をしないようにするために作成しましたが、保護者から提示されたことはありますか？

	回答数	割合
ある	3人	2.3%
ない	128人	97.7%
未回答	1人	0.8%
合計	132人	100.8%

Q10:「ある」を選んだ方にお聞きします。何件程度ありましたか？

	回答数	割合
1件	0人	0.0%
2件	1人	50.0%
3件	0人	0.0%
4件	0人	0.0%
5件以上	1人	50.0%
合計	2人	100.0%

Q11: 提示されたさくらシートはどうされましたか？

	回答数	割合
提示された時に目を通した	2人	40.0%
必要部分を転記またはコピーして保管した	2人	40.0%
ファイルの内容を元に保護者と面談を行った	1人	20.0%
利用しなかった	0人	0.0%
その他	0人	0.0%
合計	5人	100.0%

※複数回答

Q12: さくらシートは参考になりましたか？

	回答数	割合
対応面で参考となった	2人	66.7%
計画を作成するのに参考となった	0人	0.0%
面談の際に参考となった	0人	0.0%
参考にならなかった	1人	33.3%
その他	0人	0.0%
合計	3人	100.0%

Q13: さくらシートを今の事業で活用するために必要なことは何ですか？(複数選択可)

	回答数	割合
各シートの作り直し	8人	4.2%
利用方法の見直し	28人	14.7%
他のシートとの統合	20人	10.5%
さくらシートの勉強会	49人	25.7%
さくらシート利用ガイドブック	64人	33.5%
その他	22人	11.5%
合計	191人	100.0%

※複数回答

平成26年12月吉日

「きらり」を利用する保護者様

「きらり」の利用に関するアンケート

師走の候、ますます御健勝のこととお慶び申し上げます。

さて、平成25年10月1日に開設した小金井市児童発達支援センター「きらり」ですが、その業務内容について検証・検討を行い、さらなるサービスの向上に努めていきたいと考え、お忙しい中申し訳ございませんが、下記内容への回答をよろしくお願ひします。

記

Q1：ご利用の事業はなんですか？（一つお選びください）

- | | |
|---------------------------------------|-------------------------------------|
| <input type="checkbox"/> 相談支援事業 | <input type="checkbox"/> 保育所等訪問支援事業 |
| <input type="checkbox"/> 放課後等デイサービス事業 | <input type="checkbox"/> 児童発達支援事業 |
| <input type="checkbox"/> 外来訓練事業 | <input type="checkbox"/> 親子通園事業 |

※相談支援事業は、相談支援事業のみを利用している方のみチェックをお願いします。

Q2：提供しているサービス内容についてどう感じていますでしょうか？

- | | | |
|----------------------------------|----------------------------------|------------------------------------|
| <input type="checkbox"/> 大変満足である | <input type="checkbox"/> 満足である | <input type="checkbox"/> どちらとも言えない |
| <input type="checkbox"/> 不満である | <input type="checkbox"/> 大変不満である | |

※Q2で選んだ理由をご記入いただける方はお願いします。

Q3：運営事業者にお聞きします。市が委託をしています運営事業者についてどのように考えていますか？

- | | | |
|---------------------------------------|--------------------------------|----------------------------------------|
| <input type="checkbox"/> 大変満足できる | <input type="checkbox"/> 満足できる | <input type="checkbox"/> どちらかという満足している |
| <input type="checkbox"/> どちらかという不満がある | <input type="checkbox"/> 不満がある | |

※Q3で選んだ理由をご記入いただける方はお願いします。

Q4：現在利用している事業に実施してほしい療育内容、サービス等がありますか？

※ある方はご記入をお願いします。ない方は次の設問をお願いします。

Q5：自由意見（ご自由に意見要望等をご記入ください。）

以上となります。ご協力ありがとうございました。

回答終了後は、「きらり」受付または小金井市役所第二庁舎2階自立生活支援課窓口へ提出をお願いします。

問合せ先

小金井市福祉保健部自立生活支援課

担当：岡本 幸宏

TEL：042-387-9848（直通）

FAX：042-384-2524

小金井市児童発達支援センター きらり
業務委託評価報告書

平成 26 年 9 月

小金井市福祉保健部自立生活支援課

1 事業評価の目的

平成25年10月に開設した小金井市児童発達支援センター「きらり」(以下「きらり」という。)については、公募型プロポーザル方式により社会福祉法人雲柱社に委託をしている。

発達支援事業については、市として初めて取り組む事業のため、関係する3部7課の管理職が集まるプロジェクトチームを結成し、全30回に渡り検討を重ねてきた。また、市民意見交換会を全18回に渡り開催し、事業内容等の検討を重ねてきたところである。

本報告書では、平成25年度の実績、業務体系等を確認し、市の指示した内容が行われてきたのか、市民のニーズに適した施設となっているのかを確認することで、今後の施設での業務運営の参考とすることを目的とする。

2 評価の基準及び方法

(1) 評価の基準

- ア 市の指示した内容（仕様書）が理解されて業務を運営しているか。
- イ 利用者の不安のないように運営がされているか。
- ウ 市への連絡等は十分に行われているか。
- エ 児童への対応は安全に考慮されているか。
- オ 歳入の確保に努めているか。

(2) 評価方法

- ア 市職員による視察
- イ 利用者へのアンケート
- ウ 各事業の実績（利用者数）

3 市職員による視察結果

以下の評価項目について、A から E の 5 段階で評価を行う。

A：全て評価できる

B：だいたい評価できる

C：当初不備があったが、改善されてきている

D：当初から不備があり、改善されていない

E：当初から不備があり、問題が増幅した

部門	評価対象	評価項目	評価結果
相談部門	職員	相談を請け負う職員の人数が適正か。	B
		相談を請け負う職員の資格及びスキルは十分か。	B
		職員の勤務時間は適正か。	C
	体制	管理者は業務を把握しているか。	B
		職員への指示は徹底されているか。	C
		相談する人によって話す内容が異なっていないか。	C
		定期的なミーティングが行われているか。	B
		職員のスキルアップに向けた取組がされているか。	B
		職員間での連携は取られているか。	C
	連携	関係機関と連携するための動きは十分されているか。	C
		保護者等への説明会などは十分されているか。	C
		施設へ訪問する際には、事前の調整等が十分にされ、問題無く訪問できているか。	C
発達支援部門	職員	事業を請け負う職員の人数は適正か。	B
		事業を請け負う職員の資格及びスキルは十分か。	B
		職員の勤務時間は適正か。	C
	体制	管理者は業務を把握しているか。	C

部門	評価対象	評価項目	評価結果	
発達支援部門	体制	職員への指示は徹底されているか。	B	
		担当者によって業務内容が異なっていないか。	B	
		定期的なミーティングが行われているか。	B	
		職員のスキルアップに向けた取組がされているか。	C	
		職員間での連携は取られているか。	B	
	連携	関係機関と連携するための動きは十分されているか。	C	
		保護者等への説明会などは十分されているか。	B	
通園部門 (法内部門)	職員	事業を請け負う職員の人数は適正か。	B	
		事業を請け負う職員の資格及びスキルは十分か。	C	
		職員の勤務時間は適正か。	C	
	体制	管理者は業務を把握しているか。	B	
		職員への指示は徹底されているか。	C	
		担当者によって業務内容が異なっていないか。	C	
		定期的なミーティングが行われているか。	C	
		職員のスキルアップに向けた取組がされているか。	B	
		職員間での連携は取られているか。	B	
	連携	関係機関と連携するための動きは十分されているか。	C	
		保護者等への説明会などは十分されているか。	C	
	通園部門 (法外部門)	職員	事業を請け負う職員の人数は適正か。	B
			事業を請け負う職員の資格及びスキルは十分か。	C
職員の勤務時間は適正か。			C	
体制		管理者は業務を把握しているか。	B	

部門	評価対象	評価項目	評価結果
通園部門（法 外部部門）	体制	職員への指示は徹底されているか。	C
		担当者によって業務内容が異なっていないか。	B
		定期的なミーティングが行われているか。	B
		職員のスキルアップに向けた取組がされているか。	C
		職員間での連携は取られているか。	B
通園部門（法 外部部門）	連携	関係機関と連携するための動きは十分されているか。	C
		保護者等への説明会などは十分されているか。	B

4 利用者アンケート結果

Q1：ご利用の事業は何でしょうか？

	回答数	利用人数	回答率
相談支援事業	-	-	-
保育所等訪問支援事業	0.5 人	2 人	25%
放課後等デイサービス事業	11.5 人	26 人	44%
児童発達支援事業	9.0 人	15 人	60%
外来訓練事業	9.0 人	25 人	36%
親子通園事業	7.0 人	13 人	54%
合計	37.0 人	81.0 人	46%

※利用人数は、平成25年12月1日時点

※相談支援事業は、相談支援事業のみを利用している人数

Q2：提供しているサービス内容についてどう感じていますでしょうか？

	回答数
大変満足である	13.0 人
満足である	19.0 人
どちらとも言えない	5.0 人
不満である	0.0 人
大変不満である	0.0 人
合 計	37.0 人

良い点

放課後等デイサービス

- ・先生と一対一で話ができる。
- ・親の気持ちを考えてアドバイスをくれる。
- ・専門的な先生が対応する。
- ・行くのを子どもが楽しみにしている。

児童発達支援事業（ぴのきお）

- ・いつでも見学できる。
- ・できることが増えた。
- ・保護者の意見に対して前向きに取り組んでいる。
- ・その子に応じた療育を行っている。
- ・就学に向けての訓練が受けられる。
- ・具体的に子どもが生活しやすい方法を教えてくれる。

外来訓練事業

- ・子どもが楽しんで訓練を受けている。
- ・保護者の気持ちを理解して対応してくれている。

親子通園事業

- ・アドバイスをいただけるので、心強い。
- ・家での訓練方法を教えてくれる。

改善点

児童発達支援事業（ぴのきお）

- ・ 行政と利用者との信頼関係の構築
- ・ 荷物の入れ間違いが多い。

外来訓練事業

- ・ 訓練回数を増やしてほしい。
- ・ 訓練できるものを増やしてほしい。
- ・ 1つだけでなく、2つの個別訓練を受けさせてほしい。
- ・ 土曜日にも訓練できるようにしてほしい。

親子通園事業

- ・ 週1で実施してほしい。

Q3：現在利用している事業に実施してほしい療育内容、サービス等がありますか？

放課後等デイサービス

- ・ 学校からの送迎だけでもやってほしい。
- ・ 中学生以上もやってほしい。
- ・ 一時保育やお泊り保育をやってほしい。

児童発達支援事業（ぴのきお）

- ・ 延長保育（療育）
- ・ 働いている母親でも利用しやすいサービス体制を整えてほしい。
- ・ 外来、放課後等デイサービスの子ども「きらり」への送迎。
- ・ 保育園との交流
- ・ 一時預かり（0歳児から）
- ・ 会議室の利用申請が「きらり」の窓口でできるようにしてほしい。
- ・ 通園部門から保育園、幼稚園へ転園させたい場合のルートを作してほしい。
- ・ 送迎サービス

外来訓練事業

- ・ 支払いが「きらり」でできるようにしてほしい。
- ・ 運動（身体）能力があがるもの
- ・ 摂食の外来訓練もやっていただきたい。
- ・ アート教室、体操教室、けやき保育園と一緒にイベント

- ・総合的な個別学習を実施してほしい。
- ・興味を持った課題は少し長めにしていきたい。

親子通園事業

- ・工作等、手先の訓練になるような事
- ・専門的な訓練

自由意見

放課後等デイサービス事業

- ・鍵が届かない場所にあり、子どもが一人では通えない。
- ・次年度は、自由または自動更新ではないとのことなので更新できるか不安です。
- ・活動の様子の見学
- ・月1回の利用料の振込用紙の「細節」の欄の記載をできれば変えてほしい。

児童発達支援事業

- ・周りの意見に柔軟な対応をしていただきたい。
- ・就学に向けてより良い療育を目指していただきたい。
- ・子どもの目線を大事にしていきたい。
- ・昼過ぎから夕方当たりの時間帯も選べるようにしてほしい。
- ・職員の顔写真を貼ってほしい。

外来訓練事業

- ・利用した分だけ支払う方法
- ・グループ（外来）を午後3時にしてほしい。
- ・訓練の時間の設定がもっと遅いものもあると嬉しいです。
- ・軽度の障害のある子どもが通える通園施設
- ・同じ悩みを持つ親同士の交流の場、情報提供等、活用できる場所
- ・振込先に郵貯は入らないか。
- ・「きらり前」というココバスのバス停を作ってほしい。
- ・最初から個別の部屋に鍵をかけず、信頼関係ができてからにしてほしい。

親子通園事業

- ・個別対応はできないのでしょうか。

5 各事業の実績

(1) 相談支援事業

	平成25年						平成26年			合計
	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
相談支援事業（一般）	-	39件	36件	58件	28件	25件	11件	20件	22件	239件
相談支援事業（専門）	-	-	-	11件	35件	38件	39件	61件	43件	227件

【判定】

B

【評価理由】

発達支援に特化した相談については、子ども家庭支援センターで月2回行っていた発達相談（72回）と東児童館で月1回行っていた発達相談（36回）の合計108回を多少超える150件程度を想定していた。しかし、実際には新規の相談が239件実施し、その後の専門相談も227件実施しており、合計466回の相談を実施してきた。これは市が想定していた数よりも大幅に超える相談件数に対応しており、しかも、ほぼ保護者の希望する日程で相談に対応できている。

これは、委託したことに伴い、相談窓口の時間を広げたことによる効果が大きい。

今後は、計画相談にも力を入れていただきたく、利用者全員分の計画相談を作成し、モニタリングへとつなげていけるように努めていただきたい。

(2) 各事業の実績

	平成25年						平成26年			合計
	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
児童発達支援事業	-	-	-	15人	15人	15人	15人	15人	15人	-
放課後等デイサービス	-	-	-	21人	26人	26人	28人	28人	28人	-
保育所等訪問支援事業	-	-	-	1人	1人	2人	3人	3人	3人	-
回数	-	-	-	4回	6回	8回	8回	7回	8回	41件
親子通園事業	-	-	-	8人	11人	13人	14人	14人	14人	-
外来訓練事業	-	-	-	12人	25人	25人	33人	33人	33人	-
回数	-	-	-	36回	66回	61回	80回	78回	76回	397件

① 児童発達支援事業

【判定】

C

【評価理由】

ピノキオ幼稚園からの引き続き実施している事業であり、既存の利用者が継続して利用していただくことができたことは、運営事業者が保護者に安心して利用していただけるように工夫をしてきた結果だと考えられる。

開設当初は、移行に伴い児童たちが落ち着かず、ばたばたしたため保護者から不安の声もあったが、12月ごろには解消されてきた。

療育面においても、保護者に説明をしながら行っているため、保護者からの信用も高い。また、ピノキオ幼稚園のとき以上に、子どもの状況に合わせて臨機応変に対応したり、保護者からの要望の高かった就学に向けての訓練を取り入れたり、平成25年度の半年の間で保護者から大いに信頼される取り組みをしてきた。

今後は、定員が増えるため、安定した運営ができるように引き続き調整をお願いしたい。

② 放課後等デイサービス事業

【判定】

C

【評価理由】

市として新規で始める事業であったため、実施内容など仕様書に明記をしてきたが、仕様書の範囲内で最大限工夫していただいたことで利用者からの評価が高く、一人一人にあった療育を行っていた。そのため、利用希望者も多く、始まってすぐに20人を超える利用者数となった。

ただし、保護者の希望する曜日、訓練内容、子どもの習い事の状況などにより、利用できない事例も多く発生しており、今後、人員体制の整備も含めて調整が必要な結果となった。

③ 保育所等訪問支援事業

【判 定】

C

【評価理由】

市として新規事業であり、他市では関係機関との調整でトラブルを生じてしまい、うまく実施できていない事例もあったが、関係機関とうまく関係を築いていただけたため、関係各機関が協力していただけた。

ただし、利用者数が少なく、今後、利用者数を増やすためにも市と協力して周知をしていく必要がある。

④ 親子通園事業

【判 定】

B

【評価理由】

市として新規事業であり、多くの利用者を受け入れる目的であったため当時行を検討してきたが、人員体制などを考えると週1回程度の実施が現実的だと考えていた。しかし、人員体制や施設の利用方法などを工夫していただき、週2回実施できた。また、待機者がいない状況を作ることができ、保護者支援に大きく寄与することとなった。

今後は、アンケートの要望にある内容などを事業内容に取り入れ、できる限り利用者の希望に沿う事業へと調整していく必要がある。

⑤ 外来訓練事業

【判 定】

B

【評価理由】

市として新規事業であり、個別訓練を中心に検討を進めてきたが、グループ訓練を実施し、利用者を増やす努力してきた。

利用者の要望について、こたえられなかった部分もあり、今後の体制整備等に課題がある

6 「きらり」業務委託の総合評価

「きらり」の総合的な評価としては、利用者アンケートにより「今まで以上に支援の輪が広がった。」「安心できる」等の高評価である。また、委託によって、委託先の知識等を踏まえた療育が実施され、市が想定していた以上に多くの方への支援ができていることから、おおむね委託によって市民サービスが向上したと考えられる。

しかし、課題も残っている。利用決定に係わる事務では、市が利用決定をするため申請書を受け取ってから利用決定するまでに時間がかかっており、利用者には不利益となっている。しかし、これは業務委託の状態では解決できない課題であり、今後も市民サービス向上に向けて検討を進める必要がある。

また、各事業においては、市民からの要望事項や未実施事業があり、「きらり」の役割や連携の在り方等を再度検討し、少しでも小金井市の発達支援事業に貢献できるよう検討を続けていく必要がある。

幼児用

ID 名前

(案)

I 基本情報

①年齢	* 入所する時点での年齢で記入		年長・年中・年少・年少々
②他機関利用	1	利用希望日数	5日 4日以下
	2	他機関の利用（保健センターは含まない）	ない ある
	3	医療機関での療育	ない ある
	4	福祉サービス利用(内容:)	ない ある
	5	小金井市内在住	ある ない

II 子どもの状況

④生活	1	食事の状況	気になる	気にならない	
	2	排泄の状況	気になる	気にならない	
	3	着脱の状況	気になる	気にならない	
	4	睡眠の状況	気になる	気にならない	
⑤言語・コミュニケーション	1	主な要求手段	泣く	ジェスチャー	言葉
	2	言語理解	ない	状況による	ある
⑥対人	1	視線	合わない	合う	
	2	呼名反応	ない	ある	
	3	人見知り	気になる	適度	
⑦行動特徴	1	強いこだわり	ある	ない	
	2	激しいかんしゃく	ある	ない	
	3	多動(極端に落ち着きがない)・注意転導	ある	ない	
	4	表情の乏しさ・ぼんやりしてることが多い	ある	ない	
	5	自傷・他害	ある	ない	
	6	危険(物を壊す・脱走・高いところに上る 等で目を離せない)	ある	ない	
	7	衝動的	ある	ない	
	8	理由のない奇声	ある	ない	
	9	感覚の過敏・鈍麻	ある	ない	
⑧集団	1	集団生活の経験(週4日以上)の固定された集団)	ない	ある	
	2	集団での大きなトラブル(貸し借りトラブル程度は入れない)	ある	ない	

III 家庭の状況

⑩養育	1	乳幼児健診・1歳6ヶ月健診などを受けていない	はい	いいえ
	2	生活リズムが不規則	はい	いいえ
⑪親の心身	1	疾患がある(身体・精神)	はい	いいえ
	2	入退院を繰り返す	はい	いいえ
⑫家族関係	1	単親家庭である	はい	いいえ
	2	親族によるサポートがない	はい	いいえ
	3	周囲の実質的なサポート(民生委員など)がない	はい	いいえ
	4	保護者の負担が大きい(きょうだい・介護等)	はい	いいえ
⑬他機関との連携			ある	ない

備考	
月 日	

(案)

学齢用

ID

名前

I 基本情報

①年齢	* 入所する時点での年齢で記入	高学年	低学年
②他機関利用	1 他機関の利用（保健センターは含まない）	5日	4日以下
	2 医療機関での療育	ない	ある
	3 福祉サービス利用（内容： ）	ない	ある
	4 小金井市内在住	ある	ない

II 子どもの状況

④生活	1 食事の状況	気になる	気にならない
	2 排泄の状況	気になる	気にならない
	3 着脱の状況	気になる	気にならない
	4 睡眠の状況	気になる	気にならない
⑤行動特徴	1 強いこだわり	ある	ない
	2 激しいかんしゃく	ある	ない
	3 多動（極端に落ち着きがない）・注意転導	ある	ない
	4 表情の乏しさ・ぼんやりしてることが多い	ある	ない
	5 自傷・他害	ある	ない
	6 危険（物を壊す・脱走・高いところの上る 等で目を離せない）	ある	ない
	7 衝動的	ある	ない
	8 理由のない奇声	ある	ない
	9 感覚の過敏・鈍麻	ある	ない
	10 暴言・暴力	ある	ない
⑥学校生活 （現在所属の）	1 行き渋りがある	はい	いいえ
	2 指示による行動ができる	いいえ	はい
	3 準備・片付けができる	いいえ	はい
	4 学習内容が理解できる	いいえ	はい
	5 集団活動への参加ができる	いいえ	はい
	6 友達と遊ぶ	いいえ	はい
	7 対人緊張が強い	はい	いいえ
	8 適切な自己主張ができる	いいえ	はい

III 家庭の状況

⑧家庭	1 単親家庭である	はい	いいえ
	2 親族によるサポートがない	はい	いいえ
	3 周囲の実質的なサポート（民生委員など）がない	はい	いいえ
	4 兄弟、介護などがある	はい	いいえ
	5 保護者に疾患がある（身体・精神）	はい	いいえ
	6 保護者が入退院を繰り返す	はい	いいえ
	7 生活リズムが不規則	はい	いいえ
	8 他機関との連携がある	はい	いいえ

備考	
月 日	

児童発達支援センター運営協議会 委員提案 一覧

	提案者	提案日	提案内容	対応	調整
1	花岡委員	平成25年12月19日	提案として、事業内容にそって質問や疑問等を出しあい、今後の見通し、改善点など意見が出しやすい場であると今後のセンターの発展へとつなげられるかと思ひます。	第2回の運協で各事業について質問を受ける時間を設ける。	2月18日
2	花岡委員	平成25年12月19日	通常通園、放課後等デイサービス、相談支援事業、外来訓練等利用者の声(意見)をお聞きしたいです。また、これらの中で、改善点がある場合など、協議会でけんとうできるとよいかと思ひます。	利用者にアンケートをとっており、その内容で対応済み	2月18日
3	林委員	平成26年2月7日	・通園バスに「ぴのきお」のプレートを付けて欲しい。	調整する	2月18日
4	林委員	平成26年2月7日	・一時保育を早く開始できないか。	検討中である	2月18日
5	林委員	平成26年2月7日	・延長保育を可能にできないか。	放課後等デイサービス事業があるため無理である	2月18日
6	林委員	平成26年2月7日	・幼稚園を休まなくても外来訓練が受けられるよう午後の時間(グループの訓練が午前しかない)を設けてほしい。	放課後等デイサービス事業があるため無理である	2月18日
7	林委員	平成26年2月7日	・療育料の引き落としを早めに進めてほしい。	検討中である	2月18日
8	林委員	平成26年2月7日	・会議室の予約や使用時間について	一部の方が1日抑えてしまうと他の方へ影響が出るため難しい。	2月18日
9	林委員	平成26年2月7日	・さくらシートを使いやすくハンドブック化してはどうか。	調整する	2月18日
10	花岡委員	平成26年2月18日	入園決定の方法について教えてほしい。	第3回運営協議会で説明する。	5月20日
11	坂口副会長	平成26年2月18日	関係機関職員向けアンケートを実施してほしい。	第3回運営協議会で説明する。	5月20日
12	宮崎委員	平成26年2月18日	緊急一時保育(再考)	実施時期等について検討を進めてい	5月20日
13	宮崎委員	平成26年2月18日	延長保育(再考)	「きらり」は療育を中心としていることから難しい。保育を希望するのであれば、保育園等を紹介するのも検討していく必要がある。	5月20日
14	宮崎委員	平成26年2月18日	2F～3F踊り場の隙間について	第3回運営協議会で説明する。	5月20日
15	宮崎委員	平成26年2月18日	保険の有無	第3回運営協議会で説明する。	5月20日

	提案者	提案日	提案内容	対応	調整
16	宮崎委員	平成26年2月18日	「ぴのきお」「ピノキオ」どちらが正式？	「ピノキオ」は著作権があるため、「ぴのきお」と表記をしています。	5月20日
17	宮崎委員	平成26年2月18日	「ぴのきお」という愛称を職員の方(通園の先生方)があまり使わないのはなぜ？	第3回運営協議会で説明する。	5月20日
18	宮崎委員	平成26年2月18日	「ぴのきお幼稚園」の歴史が残るように、きらり内に沿革を掲示して頂きたい	第3回運営協議会で、どのようなことを考えられているのか説明をいただき、検討したい。	5月20日
19	宮崎委員	平成26年2月18日	一人の子どもがセンターのサービスを複数使えるようにして頂きたい	療育に力を入れており、	5月20日
20	宮崎委員	平成26年2月18日	バス(送迎車)の「ピノキオ」プレートを前後及び横に表示して頂きたい	バスはリースであり、加工はできない。	5月20日
21	宮崎委員	平成26年2月18日	けやき保育園との交流イベントを増やして欲しい	第3回運営協議会で説明する。	5月20日
22	笠井委員	平成26年5月20日	「さくらシート」の使い方について説明をしてほしい	第4回運営協議会で説明する。	8月19日
23	宮崎委員	平成26年5月20日	委員に他の事業の代表者を入れて欲しい。	第5回運営協議会で説明する。	11月18日
24	宮崎委員	平成26年11月10日	送迎バス・送迎車の「ぴのきお」プレートについて5月の運営協議会にて、送迎バス・送迎車へ「きらり」「ぴのきお」の周知のため、デコレーションをお願いしましたが、デコレーションは無理というのは理解しております。が、マグネットなど検討しますという事でしたので、どのような物を検討されているのか具体例をあげて回答をお願い致します	第5回運営協議会で説明する。	11月18日

小金井市児童発達支援センター運営協議会スケジュール

小金井市児童発達支援センター運営協議会については、下記の日程で実施を予定している。

記

1 年間実施回数

4回（平成25年度のみ2回）

2 次回以降の予定

(1) 第6回小金井市児童発達支援センター運営協議会開催日時
平成27年2月17日（火） 午前10時から

(2) 内容（予定）

- ①小金井市児童発達支援センター「きらり」
1月末までの実績報告
- ②第5回の引き継ぎ案件
- ③各委員発議の討論テーマ
- ④対象事業に対する討論
- ⑤今後の予定

2月						
日	月	火	水	木	金	土
1	2	3	4	5	6	7
8	9	10	11	12	13	14
15	16	17	18	19	20	21
22	23	24	25	26	27	28

(3) 第7回小金井市児童発達支援センター運営協議会開催日時
平成27年5月19日（火） 午前10時から

(4) 内容（予定）

- ①小金井市児童発達支援センター「きらり」
1月末までの実績報告
- ②第5回の引き継ぎ案件
- ③各委員発議の討論テーマ
- ④その他
- ⑤今後の予定

5月						
日	月	火	水	木	金	土
					1	2
3	4	5	6	7	8	9
10	11	12	13	14	15	16
17	18	19	20	21	22	23
24	25	26	27	28	29	30
31						

(5) 第8回以降

第8回小金井市児童発達支援センター運営協議会

平成27年 8月18日（火）

第9回小金井市児童発達支援センター運営協議会（予定）

平成27年11月17日（火）